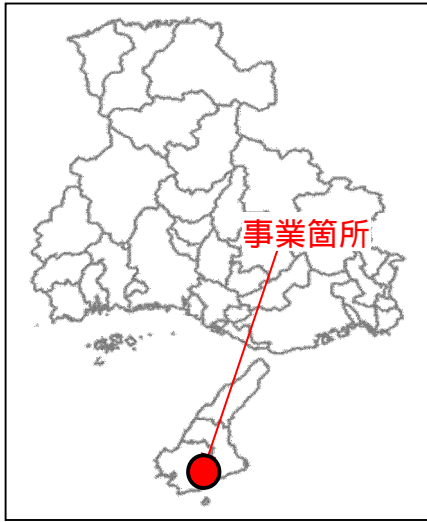


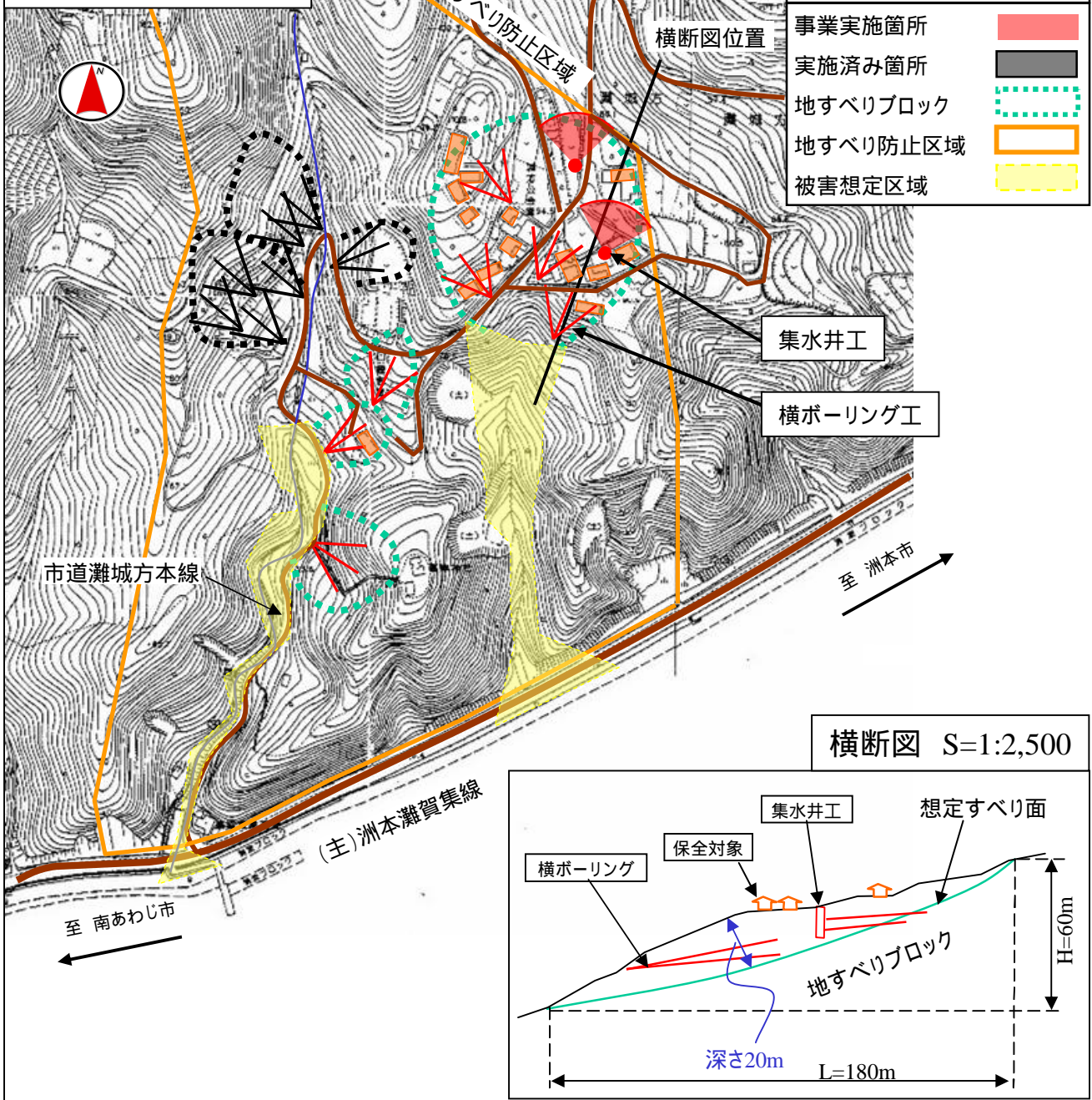
投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 （担当者氏名）	砂防課長 尾崎 幸忠 （鵜崎 尚夫）	内線	4459 （4467）
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	地すべり 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	2.0億円
		地すべり対策事業 なだじょうほう 灘城方地区	南あわじ市 なだじょうほう 灘城方	内用地補償費	0.01億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
南あわじ市 灘城方				H22	H25
事業目的			事業内容		
地すべり対策 当地区は、市道や擁壁に亀裂等の地すべり兆候が現れている地すべり防止区域であり、保全対象に人家や県道等があるため、地すべり対策工事を実施し、地域の安全・安心な暮らしを支える。			地すべり対策事業 集水井工 N = 2基 横ポーリング工 L = 1,900m 〔負担割合 国：1/2、県：1/2〕		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 〔地区の状況〕 〔保全対象等の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> 中央構造線沿いの破砕帯に起因する地すべり防止区域。 昭和49年に地すべり防止区域を指定し、横ポーリング工により、対策を行ったが、最近の現地再調査の結果、擁壁や、階段の亀裂等、地すべり兆候が多数現れている。 地すべりブロックや被害想定区域が大きく、地すべりが発生した場合の被害は甚大である。 （地すべりブロック：最大延長180m・幅160m、被害総面積約5ha） 人家14戸、（主）洲本灘賀集線（約120m）、市道（約940m） 			
(2)有効性・効率性 〔効果〕 〔事業執行環境〕		<ul style="list-style-type: none"> 上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 用地の取得に関して大きな地図混乱はなく特に問題はない。 工事予定箇所付近には市道があるため工事用道路にも問題はないことから円滑な事業執行が可能。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 集水井工及び横ポーリング工は大部分が地下埋設物となるため、環境に与える影響は少ない。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 既に地すべり兆候が現れていることから、早期着手に対する地元要望が強い。 <p>以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。</p>			



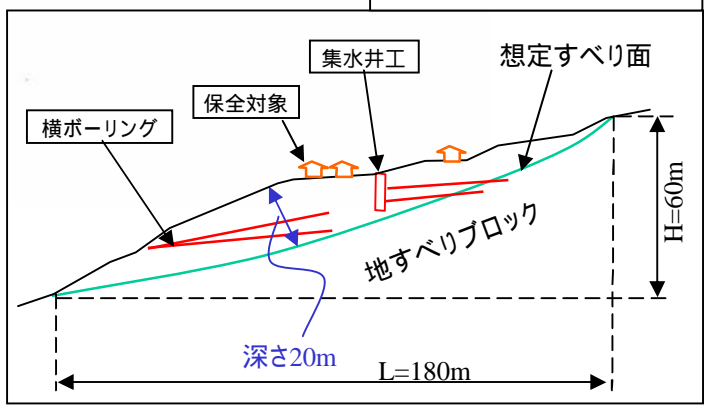
平面図 S = 1:5,000



凡例

事業実施箇所	
実施済み箇所	
地すべりブロック	
地すべり防止区域	
被害想定区域	

横断面図 S=1:2,500



施工箇所 灘城方地区